

# 令和3年度事業推進の重点

公益財団法人京都府スポーツ協会は、「生涯スポーツ社会」と「もっと元気な京都のスポーツ」及び「輝け・強く・心躍る京都のスポーツ」の実現を期するため、京都府スポーツセンターを活動の拠点として、府民スポーツの振興並びに競技力の向上のため京都府スポーツ推進計画「中間年改定」に基づき、その具現化を図り本府スポーツの一層の充実・発展に努める。

## 重点事項

### 1 運営基盤の整備並びに京都府スポーツセンター機能の充実

- (1) 府民スポーツの総合的センターとして財源を確保するとともに、加盟団体の充実・発展を支援し、組織全体の活性化とガバナンス機能の充実に努める。
- (2) 京都トレーニングセンターと一層の相互連携を図り、スポーツ医・科学相談事業の充実に努める。
- (3) 総合型地域スポーツクラブを支援する広域スポーツセンター機能の充実に努める。
- (4) スポーツ・ガバナンスコードに基づき、自己評価を適切に行い、広く公表するとともにスポーツ・インテグリティ向上委員会のもと加盟団体に対してもその推奨を行う。

### 2 府民スポーツの振興

- (1) 感染防止対策を施し、引き続きコロナ禍における新しいスポーツの実践について創意工夫し、スポーツの機会を提供する。
- (2) 京都府民総合体育大会の充実をはじめ、府民の生涯スポーツの振興を推進する。  
また、京都府民総合体育大会マスターズ部門の開催など、ワールドマスターズゲームズ2021 関西への府民参加を促進する事業を展開し、一層の内容充実と広報に努める。
- (3) 多様化する府民のスポーツ活動に相応し、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の運用開始（R4）に向けて中間支援組織の位置づけを明確にし、クラブが地域のコミュニティの創造と活力あるまちづくりに寄与するよう体制構築に努める。
- (4) 府民スポーツの一層の振興を図るため、京都に本拠地のあるプロスポーツ団体との連携を推進する。
- (5) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021 関西の国内開催に伴い、府民が自ら「する」「みる」「ささえる」スポーツを実践できるよう支援する。

### 3 競技力の向上

- (1) 国民体育大会をはじめとする全国的大会等において好成績を収めるため選手および指導者の育成と競技力向上のための研修会等の充実に努める。
- (2) 府民スポーツ及び競技力の向上に係る医・科学的研究を推進し、その成果を府民に提供するとともに、アンチ・ドーピング教育・啓発活動を展開する。

### 4 指導者の資質向上と育成

- (1) 生涯スポーツの振興並びに競技力の向上に必要な指導者を育成するとともに、その資質向上に努める。
- (2) 指導者の組織充実を図り、指導者の資質向上に努める。
- (3) 指導者制度に基づく優秀な指導者の育成に努め、スポーツにおけるインテグリティを追求し、暴力等の根絶に向けた取組を進める。

### 5 スポーツ少年団の育成と拡充

- (1) 青少年にスポーツ活動の基本を学ばせるとともに、スポーツ活動を通して「生きる力」を培わせる諸事業を展開し、地域社会のスポーツ活動の核となる少年団活動を支援する。
- (2) 市町村スポーツ少年団本部の育成に努めるとともに、単位団活動の活性化を支援する。
- (3) 指導者・登録制度の改定に伴い、指導者の育成に努めるとともに、専門部組織の拡充を支援する。
- (4) 近畿ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会の開催により、運営力の向上及び参加する青少年の健全な育成に寄与する。

### 6 関係機関・団体等への協力・支援

- (1) 各種大会等への協力
- (2) スポーツ安全保険の加入促進及び普及・安全指導・事故防止啓発事業の推進

### 7 その他

- (1) 府民のスポーツへの誘いとして、活発な広報活動を展開する。
- (2) その他、本会の目的を達成するため、必要に応じ特別事業を行う。
- (3) ペーパーレス等、環境に配慮した運営を展開するために事務作業の見直しを行う。
- (4) 感染防止対策や出張費削減及び時間有効活用等に配慮しWEB会議の積極的導入を図る。